

## 令和8年度 第2回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和8年5月14日(木) 午後7時00分～午後8時30分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

<委員14名>

伊藤和夫(会長)、鈴木雄也(副会長)、青木富美雄、安藤孝之、伊藤圭一、紀平純子、熊本ゆう子、後藤美咲、鈴木好美、成瀬一、成瀬初恵、西田又紀二、森下正人、渡邊渚

<事務局>

杉本憲彦(支所長)、児嶋勇吾(副支所長)、梅村祐子(担当長)、山岡千裕(主査)、平井一輝(主事)

<傍聴人3名>

---

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事項

(1) 地域会議の今後の進め方について

4 支所長あいさつ

5 閉会

---

**【内容】(要約)**

**1 開会**

**2 会長あいさつ**

**3 協議事項**

(1) 地域会議の今後の進め方について

・委員から一人ずつ問題意識がある事項について意見交換をした。

<主な意見>

【生活環境について】

・高齢化や人口減少への対策が必要。組織の役割の見直しや簡素化の検討、またIoTやデジタル技術を活用した仕組みを整えてはどうか。

・やれる人、やってくれる人だけがやるのではなく、やりがいを地域へどう展開していくか。皆で支えあうにはどうすればよいか。

・問題の共有だけではなく、今あるものを活かした、前向きな話をしたい。

・自主防災の仕組みができるといい。

#### 【商業について】

- ・商業が盛り上がりれば関係人口によって活気づく可能性がある。後継者不足があるが、引き継いで地方の活性化につなげていきたい。
- ・地元に魅力がないと人も寄ってこない。生活するには仕事が必要だが、職場が少ない。
- ・移住してきた際に業者を利用しようと思った時に、できるだけ地域の業者を使いたいと思ったが、地域のどこに頼んだらよいか分からなかった。地域の中で循環を生み出す仕組みができないか。
- ・地域で継続して農業ができる仕組みができないか。それも一つの商業になるのではないか。

#### 【子育て環境について】

- ・子どもの数が減っている。子育て世代に来てほしいが、交通や子どもの居場所の問題があり、子どもの安全・安心に不安がある。
- ・特別支援級の子は中学校になると学校後の居場所がなくなってしまう。
- ・何でも学校に任せるのではなく、見守り等も含めて別の場でできないか。
- ・中学校に行って子どもたちが何を考えているのか聞いてみたい。

#### 【交通について】

- ・交通の便が悪く、通院等が不便。体調が悪い際に運転できずバスで通院しても、乗り換えの都合で家までたどり着けない可能性もある。また、大雨や雷で通学バスが止まる等、子どもの送迎も不便。
- ・バスの定期券はバスの街中に行かないとパスがもらえず不便。
- ・高齢者向けの「おでかけパス 70」購入者に配布されるクーポン券について、バスで行けない旭高原が入っている。

#### 【移住・定住について】

- ・空き家対策について、地域全体で取組ができるような方向性があるといい。
- ・高齢化と、人口減少で困っていたが、移住してきた人が頑張ってくれて何とかなったところがある。高齢化の問題についても、移住・定住は大事。

⇒出してもらった意見を基に、3回目以降さらに深掘りをしながら意見交換をしていく。

## 4 支所長あいさつ

## 5 閉会

— 午後8時30分 令和8年度第2回旭地域会議終了 —

以上